

新潟市障がい福祉施策アンケート調査票

問1 この調査票はどなたが回答と記入をされますか。 もっともあてはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 自分自身が回答して記入
2. 自分自身が回答して家族や介助者が記入
3. 家族や介助者が回答して記入

問2 あなたの年齢を教えてください（令和8年7月1日現在）。

（ ） 歳

問3 あなたの性別を教えてください。

1. 男
2. 女
3. 答えない

問4 あなたの現在のお住まいの区はどこですか。

1. 北区
2. 東区
3. 中央区
4. 江南区
5. 秋葉区
6. 南区
7. 西区
8. 西蒲区

問5 あなたの現在のお住まいは次のどれでしょうか。
もっともあてはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 持ち家
2. 民間賃貸住宅
3. 公営住宅
4. グループホーム
5. 入所施設
6. その他（具体的に ）

問6 あなたは将来、どのような場所で生活したいと思いますか。
以下の中からもっともあてはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 自宅
2. グループホーム
3. 入所施設
4. その他（具体的に ）

問7 あなたが現在一緒に住んでいる方はどなたですか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|----------|--------------|
| 1. 一人暮らし | 2. 配偶者 |
| 3. 父 | 4. 母 |
| 5. 祖父母 | 6. 子 |
| 7. 孫 | 8. きょうだい |
| 9. 友人・知人 | 10. その他（具体的に |

問8 あなたは普段の生活で誰から介助・支援を受けていますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

※介助・支援などの実態を把握するため、選択肢を細かく分けています。

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. 介助・支援は受けていない | 2. 配偶者 |
| 3. 父 | 4. 母 |
| 5. 祖父母 | 6. 子 |
| 7. 子の配偶者 | 8. きょうだい |
| 9. 孫 | 10. 友人・知人 |
| 11. 施設職員 | 12. ホームヘルパー |
| 13. ボランティア | |
| 14. その他（具体的に | |

問9 あなたがお持ちの手帳の種類と等級について教えてください。あてはまるものすべてに○をつけ、カッコ内の等級（程度）にも○をつけてください。

1. 身体障がい者手帳

視覚障がい（ 1級 2級 3級 4級 5級 6級 ）

聴覚または平衡機能障がい（ 2級 3級 4級 5級 6級 ）

音声・言語・そしゃく機能障がい（ 3級 4級 ）

肢体不自由（ 1級 2級 3級 4級 5級 6級 7級 ）

内部障がい（ 1級 2級 3級 4級 ）

2. 療育手帳（ A B ）

3. 精神障がい者保健福祉手帳（ 1級 2級 3級 ）

4. 手帳は持っていない

問10 次の中で、あなたにあてはまるものはありますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 発達障がい（自閉スペクトラム症、ADHD、学習障がいなど）と診断（または疑いを指摘）されたことがある

2. 高次脳機能障がい（※）と診断されたことがある

3. 指定難病と診断されたことがある

4. 医療的ケア（導尿、経管栄養、痰の吸引など）を受けている

5. 強度行動障がい（自傷、他害、危険な行動、強いこだわりなど）で支援が必要である

6. 重度の身体障がいと、重度の知的障がいの両方がある

7. どれにもあてはまらない

8. わからない

（※）「高次脳機能障がい」とは、疾病の発症または事故による受傷による脳の器質的病変に起因すると認められる記憶障がい、注意障がい、遂行機能障がい、社会的行動障がい、失語、失行、失認その他の認知機能の障がいのこと。

問11 あなたが現在利用している福祉サービスは何ですか。
 以下の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。
 ※各サービスの内容については、次のページをご覧ください。

1. 居宅介護	2. 重度訪問介護	3. 訪問入浴
4. 行動援護	5. 移動支援	6. 同行援護
7. 生活介護	8. 自立訓練	9. 地域活動支援センター
10. 就労継続支援	11. 就労移行支援	12. 就労定着支援
13. 就労選択支援	14. グループホーム (共同生活援助)	15. 自立生活援助
16. 施設入所支援	17. 療養介護	18. 相談支援事業
19. 一時的に日中活動又は住まいの場を提供するサービス (日中一時支援、短期入所)		
20. 補装具費支給・日常生活用具給付		
21. 意思疎通支援(手話通訳・要約筆記、盲ろう介助)		
22. その他(具体的に		

)

- 居宅介護：自宅^{きょたく}で入浴^{かいご}や排せつ^{にゅうよく}、食事^{はい}の介護^{しょくじ}や家事^{かいご}の援助^{かじ}などを行うサービス^{えんじょ}
- 重度訪問介護：重い障がい^{じゅうどほうもん}があり常に介護^{かいご}や見守り支援^{おも}が必要な人^{しんたいしょう}に、自宅^{ひと}で入浴^{たいしょう}、排せつ^{ほうもん}、食事^{にゅうよく}の介護^{かいご}や外出^{おこな}時の移動^{かいご}の介護^{おこな}などを行うサービス
- 訪問入浴：重い身体障がい^{ほうもん}のある人^{しんたいしょう}を対象^{ひと}に、訪問^{たいしょう}により入浴^{ほうもん}の介護^{にゅうよく}などを行うサービス^{かいご}
- 行動援護：知的障がい^{こうどうえんご}や精神障がい^{ちてきしょう}により行動^{せいしんしょう}が著しく困難^{こうどう}な人^{いちじ}に、行動^{こうなん}するときに必要な支援^{かいご}や外出^{かいご}時の移動^{おこな}の介護^{おこな}などを行うサービス
- 移動支援：屋外^{いどう}での移動^{おくがい}が困難^{いどう}な人^{こうなん}に、外出^{ひと}のための支援^{がいしゅつ}を行うサービス^{しえん}
- 同行援護：視覚障がい^{どうこうえんご}により移動^{しかくしょう}が著しく困難^{いどう}な人^{いちじ}に、移動^{こうなん}に必要な情報^{ひと}の提供^{いどう}や、移動^{ひつよう}の支援^{じょうほう}などを行うサービス^{ていきょう}
- 生活介護：常に介護^{せいかつ}を必要とする人^{かいご}に、日中^{ひつよう}の入浴^{しょうほう}や排せつ^{ていきょう}、食事^{しょくじ}の介護^{かいご}などを行うサービス^{おこな}
- 自立訓練：地域^{じり}で自立^{つく}した日常生活^{くねん}や社会生活^{おこな}ができるよう、身体機能^{しんたい}や生活能力^{きのかう}の向上^{せい}のために必要な訓練^{せいかつ}を行うサービス^{のうりよく}
- 地域活動支援センター：障がい^{ちいき}のある人^{かつどう}を対象^{しえん}に、創作^{しょう}的活動^{ひと}や生産^{たいしょう}活動^{しょう}の機会^{そうさく}の提供^{ていきょう}、社会^{せいきん}との交流^{かつどう}などを行う施設^{きかい}
- 就労継続支援：通常^{しゅうろう}の事業所^{けいぞく}で働くことが困難^{しえん}な人^{しゅうろう}に、就労^{きかい}の機会^{ていきょう}の提供^{しゅうろう}や就労^{しゅうろう}に必要な知識^きの習得^{かい}、能力^{ていきょう}の向上^{しゅうろう}のために必要な訓練^{しゅうろう}を行うサービス^{のうりよく}
- 就労移行支援：通常^{しゅうろう}の事業所^{じぎょう}で働くことを希望^{はたら}する人^{きぼう}に、一定期間^{ひと}の支援計画^{いっていきかん}に基づいて、就労^{しえん}に必要な知識^{けいかく}の習得^{ちと}や能力^{しゅうろう}の向上^{しえん}のために必要な訓練^{しゅうろう}を行うとともに、適性^{おこな}に応じた職場探し^{てきせい}や就労後の職場^{しゅうろうご}への定着^{しよくば}のために必要な支援^{ていちゃく}を行うサービス^{おこな}
- 就労定着支援：就労移行支援^{しゅうろう}などの利用^いを経て通常^{しゅうろう}の事業所^{じぎょう}で働いている人^{はたら}に、就労^{ひと}によって生じる日常生活^{しゅうろう}や社会生活上^{しょう}の課題^{にちじょうせいかつ}に対応^{しゃかいせいかつじょう}する支援^{かだい}を行うサービス^{たいおう}
- 就労選択支援：障がい^{しゅうろう}のある人^{しょう}が就労先^{しゅうろうさき}・働き方^{はたら}についてよりよい選択^{かた}ができるよう、本人^{せんだく}の希望^{しえん}、就労能力^{しえん}や適性^{しえん}等に合った選択^{しえん}を支援^{しえん}するサービス
- グループホーム（共同生活援助）：共同生活^{きょうどうせいかつ}を行う住居^{えんじょ}で、夜間^{きょうきょ}や休日^{やかん}における日常生活上^{にちじょうせいかつじょう}の援助^{えんじょ}や相談^{そうだん}を行うサービス^{おこな}
- 自立生活援助：障がい者^{じり}支援施設^{つせいかつえんじょ}やグループホーム^{しょう}などから地域^{しゃしえん}での一人暮らし^{しせつ}への移行^{ちいき}を希望^{ひとりく}する人^{ひと}に対して、定期的な居宅訪問^{いこう}や随時の対応^{きぼう}により、自立^{ひと}した地域生活^{たい}に向けた相談援助^{ていきてき}を行うサービス^{きょたくほうもん}

○施設入所支援：入所施設で夜間などにおける入浴や排せつ、食事などの介護を行うサービス

○療養介護：常に医療と介護を必要とする人に、医療機関で、機能訓練や療養上の管理、看護などを行うサービス

○相談支援事業：障がいのある人や介護する人の相談に応じ、必要な情報提供や助言を行うとともに、障がいのある人の権利擁護のために必要な援助を行うサービス

○日中一時支援：自宅で介護する人が病気などの場合に、障がいのある人を、日中、施設で一時的に預かり介護するサービス

○短期入所：自宅で介護する人が病気などの理由で、短期間、施設などへ入所を必要とする人に、短期入所事業所で入浴や排せつ、食事の介護などの支援を行うサービス

問12 新潟市の障がい福祉施策の中で、あなた自身がもっと良くしてほしいと思うことはありますか。以下の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 相談支援体制	2. 居住サービス
3. 外出サービス	4. 通所サービス
5. 入所サービス	6. 経済的負担の軽減
7. 雇用促進・就労支援	8. 意思疎通支援
9. スポーツ・文化・余暇活動	10. 障がいの早期気づき・早期対応
11. 就学前療育	12. 学校教育
13. 放課後活動	14. 道路・交通・建物のバリアフリー
15. 防災対策	16. ボランティア活動
17. 介助者へのサポート	18. 障がい者の権利擁護
19. その他（具体的に	）

問13 あなたは普段、平日の昼間をおもにどのようにして過ごしていますか。以下の中からもっともあてはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 正規雇用の社員・職員として働く	
2. パートやアルバイトなど、非正規雇用の社員・職員として働く	
3. 自宅で収入のある仕事	4. 就職活動
5. 職業訓練	6. 就労支援施設
7. 就労支援施設以外の施設	8. 自宅で家事手伝い
9. 教育機関で学ぶ	
10. その他（具体的に	）
11. 1～10 にあてはまるようなことは特にしていない	

問14 問13で「6～11」を選択した方にお聞きします。
今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。

1. 仕事をしたい
2. 仕事をしたいと思わない、できない、わからない

問15 問13で「1～5」を選択した方にお聞きします。
収入を得る仕事をする時に不安なことや心配なことはありますか。以下の中からあてはまるものに3つまで○をつけてください。

1. 職場に障がいや病気に対する理解があるか
2. 短時間勤務など体調に合った勤務ができるか
3. 障がい特性や体調に合った仕事内容や仕事量か
4. 異動や業務変更に対応していくための職場の援助があるか
5. 良好な人間関係をつくるための職場の援助があるか
6. 職場の上司を頼れるか
7. 送迎など通勤のための援助・支援があるか
8. ジョブコーチ（仕事の悩みや職場環境の課題を解決するお仕事のコーチ）による支援があるか
9. 就労後のフォローなど職場と支援機関の連携があるか
10. パソコン、インターネット等を扱えるか
11. 働くために必要な知識や技能を身につけられるか
12. やりがいのある仕事であるか
13. 給料に満足できるか
14. その他（具体的に
15. 特にな
16. わからない

問16 あなたが今お住まいの地域で安心して生活していくために必要なことはありますか。もっともあてはまるものにひとつだけ○をつけてください。

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. ホームヘルパー | 2. ガイドヘルパー（外出時の支援） |
| 3. グループホーム | 4. 通所事業所 |
| 5. 日中の居場所 | 6. 短期入所（ショートステイ） |
| 7. 困った時に相談できる場所 | 8. 働く場所 |
| 9. その他（具体的に | ） |



選んだ理由を教えてください。

.....

.....

問17 あなたは障がいを理由として偏見や差別・暮らしにくさを感じたり、いやな思いをしたりしたことがありますか。どちらかひとつに○をつけてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|



具体的にどのような場面ですか。以下の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-------------|---------|
| 1. 教育の場 | 2. スポーツの場 | 3. 雇用の場 |
| 4. 商業施設利用の場 | 5. 交通機関利用の場 | |
| 6. その他（具体的に | | ） |

問18 新潟市では、障がいのある方への差別が解消され、誰もが安心して暮らせる「共生社会」の実現を目指すため「新潟市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例」を平成28年4月1日に施行しました。

あなたはこの条例を知っていますか。もっともあてはまるものにひとつだけ○をつけてください。

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 内容まで知っている | 2. 知っている（聞いたことがある） |
| 3. 知らない | |

問19 あなたは、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。
 以下の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 家族や親せき	2. 友人・知人
3. 近所の人	4. 職場の上司や同僚
5. 施設の職員	6. ホームヘルパー
7. 障がい者団体	8. かかりつけの医師や看護師
9. 病院のケースワーカー	10. 介護保険のケアマネジャー
11. 民生委員	12. 相談支援事業所
13. 区役所の職員	14. 基幹相談支援センター
15. 身体障がい者相談員、知的障がい者相談員	
16. 相談していない	17. 相談する相手がいない
18. その他（具体的に	）

問20 大きな災害があった際、あなたはおもにどこへ避難したいと思いますか。
 もっともあてはまるものにひとつだけ○をつけてください。

1. 一般の避難所（学校の体育館など）	2. 自宅（在宅避難）
3. 車の中（車中避難）	4. 親族・知人宅
5. ホテル・旅館などの宿泊施設	6. 介助員がいる施設
7. かかりつけの病院	8. わからない
9. その他（具体的に	）

問21 おお さいがい とき ふあん こと しんぱい こと あります か。
い か なか 以下の中からあてはまるものに3つまで○をつけてください。

1. どこに避難すればよいかわからない
2. いっしょに避難してくれる人がいない
3. 慣れない環境や人が多い場所で落ち着いて過ごせるか
4. 避難生活で障がいや病気への理解が得られるか
5. 必要な福祉サービスを受けられるか
6. 自分に合った方法で情報を受け取れるか
7. 必要な薬や医療を受けられるか
8. 困った時に相談できる人がいるか
9. 福祉用具（車いす、ストマ用装具など）を使用できるか
10. 電動車いすや人工呼吸器などのための電源が確保できるか
11. 介助や支援を受けられるか
12. 在宅避難をした場合に支援物資を受け取れるか
13. 家族や支援者と連絡が取れるか
14. その他（具体的に
15. 特に不安はない
16. わからない

問22 災害が起こった時に備え、あなたが知っていることや経験したことはありますか。以下の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 近くの指定避難所がどこか知っている
2. 避難所運営訓練に参加したことがある
3. 総合防災訓練に参加したことがある
4. 家族などと連絡方法を決めている（災害用伝言ダイヤルなど）
5. 避難行動要支援者名簿に登録をしている
6. 個別避難計画を作成している
7. 災害時に備え薬や医療用品などを備蓄している
8. その他（具体的に _____ ）
9. 特にない

問23 あなたは、災害時に備えてどのようなことに力を入れてほしいと思いますか。以下の中からあてはまるものに3つまで○をつけてください。

1. 病気や障がいのある人のための避難訓練の実施
2. 災害時の対応方法や必要な備えについての情報提供
3. 障がいに配慮した避難所の環境整備
4. 必要な医療や福祉サービスを受けられる体制づくり
5. 視覚障がいや聴覚障がいなどに対応した情報提供
6. 介助員がいる避難施設や宿泊避難先の充実
7. 個別避難計画の作成支援
8. 在宅避難者や車中避難者への支援体制の整備
9. その他（具体的に _____ ）
10. 特にない

問24 あなたが普段の生活で困っていることや利用している福祉サービスで不便に
感じていることがありましたら記入してください。

以上で質問は終わりです。最後に記入漏れなどがないか、もう一度ご確認ください。
ご協力ありがとうございました。

なお、お答えいただいた調査票は、同封の「アンケート回答提出用封筒」に入れて
封をしたうえで、切手を貼らずに令和8年7月29日（水曜日）までに、
ポストにご投函ください。